

国語総合学習指導案

奈良女子大学附属中等教育学校
二田貴広

1、指導クラス 高等学校 第1学年 3クラス

- 2、教材
- | | |
|--------------|-------------|
| 「僕の俳優修行」 | (長塚 京三) |
| 『『共生』とは何か』 | (鬼頭 秀一) |
| 映画「パールハーバー」 | (マイケル・ベイ監督) |
| 映画「千と千尋の神隠し」 | (宮崎 駿監督) |

3、単元名 教科書外教材活用(二)メディアリテラシーを育む ~「読むこと」の試みとして~

4、単元設定の理由

生徒の将来を展望して必要である

本校の生徒のほとんどは大学への進学を志望している。大学卒業後は、知的リーダーとして社会で活躍したり、大学院へ進学してさらに研究を深めたりしたいと希望している生徒も多い。知的リーダーとまではいかないまでも、社会に有為な人材となりたいという志を持っている生徒まで含めると、ほとんどの生徒がそう希望している。

そのような人物となるためには、受動的に情報を受け取るだけという態度ではいけない。受け取った情報から、様々な「意味」を読み取ったり、他の情報と組み合わせて「意味」を補完し、より深い「意味」や新しい「意味」を構築してゆく態度と能力とが必要不可欠だ。また、自ら課題意識を持ち、情報を求めたり情報を発信したりして、課題を解決してゆこうとする態度と能力も必要である。

現在の生徒をとりまく状況と近い将来の社会状況を展望して必要である

現在は、価値観の多様性が認められる時代であるといえよう。しかし、個人の価値観が尊重されているが、どのような価値観のもとに自己を構築してゆくのか、簡単には決めることはできないし、自己の構築をはじめた直後から、自己のあり方が他の様々な価値観によって常に問い直され続ける。そのような厳しい時代でもある。

様々な価値観があふれている状況にあっては、自己をいかにして確立するかが重要である。様々な価値観に囲まれ影響を受けながら、自分の価値観とそれに基づく生き方をいかにして構築するのか、いかにしてよりよいものにしてゆくのが現代を生きる者の重要な課題だ。その課題に取り組むためには、自己とはどのような存在であるのかを知り、他者とはどのような存在であるのかを知る態度が必要不可欠である。

5、生徒の実態

国語の授業に対する興味・関心が高く、授業態度も良好で集中して学習に取り組んでいる。授業内容についての鋭い発問や自分の意見の主張なども時折見られ、今後も、発問を期待できる。

6、単元の目標

受け取った情報から、様々な「意味」を読み取ったり、自分なりに「意味」を補完したり、他の情報と組み合わせてより深い「意味」や新しい「意味」を構築してゆく態度と能力とを育む。

自ら課題意識を持ち、情報を求めたり情報を発信したりして、課題を解決してゆこうとする態度と能力とを育む。

自己とはどのような存在であるのかを知り、他者とはどのような存在であるのかを知ろうとする態度を育む。

8、本単元の学習指導構想（全5時間）

時間	学習目標	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
1, 2	<ul style="list-style-type: none"> 本単元までに学習した内容を本単元での学習と関連させて学習に取り組みさせることにより、複数の情報を組み合わせてものごとを考える態度と能力とを育む。 情報を受け取るだけでなく、自ら情報を得ようとし、得た情報から何かしらの背景や暗示されている、あるいは明示されていない意味を読み取るようとする態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「様式」「怖い森」「異界」「深層心理にある日本的なもの」について再確認する。 映画「パールハーバー」「千と千尋の神隠し」を見て、「様式」と「怖い森」「異界」「深層心理にある日本的なもの」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントを用いて、本単元までに学習した内容と本単元での学習との関連を生徒に伝え、その前提の下に学習を進められるよう心理的な準備をさせる。 「パールハーバー」からは、とくに人物造形について、「千と千尋の神隠し」からは、「怖い森」「異界」「深層心理にある日本的なもの」を読み取るよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの内容を振り返ったか。 指示されたことをふたつの映画から読み取るようとしたか。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分が映画から読み取ったことをわかりやすくまとめられたか 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 発問 観察 学習プリント 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 自分の置かれている状況を分析する能力と将来を展望しようとする態度を育む。 自他のものの捉え方や考え、感じ方を客観視するための方法や観点を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> SMAPの曲「世界にひとつだけの花」の鑑賞を通して「現代」とは何か、自分たちとどのように関連するのかを捉える。 映画から読み取った「様式」について「様式」の効果世界にある他の「様式」自分の中にある「様式」的なものの捉え方、感じ方の3点を考え記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「世界にひとつだけの花」の歌詞が生まれ、広く共感を得ているのは、現代の社会状況に由来することを伝える。 については「わかりやすさ」や「共感の得やすさ」などの「～しやすさ」であることを伝える。と は例を示して考えさせる。例：イラクは悪いアメリカは良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲をきちんと聴いているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 歌詞を読み、ポストモダンの時代をあらわしている部分を指摘できたか。 課題を正しく捉えて、自分の意見をわかりやすく記述できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 発問 観察 学習プリント 	
4	<ul style="list-style-type: none"> 自他のものの捉え方や考え、感じ方を客観視するための方法や観点を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 映画から読み取った「深層心理にある日本的なもの」について他の生徒がどのようなものを読み取ったのか知る。自分にも同じようなものがあるかどうか自己認識する。それは教育による知識にすぎないのか、自分のものの捉え方や考え、感じ方の根幹を為すものであるのか自己認識する。同じ場面からALTがどのようなものを読み取るのかを知り、自分たちの読み取りと比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> 映画から読み取った「深層心理にある日本的なもの」について、生徒全員の読み取りをプリントによって明示する。 生徒が読み取ったことが、教育による知識にすぎないのか、自分のものの捉え方や考え、感じ方の根幹を為すものであるのか判断させるために、わかりやすく例を用いて説明する。 ALTの意見を、正しく生徒へ伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTの意見を注意深く聞いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTの意見を注意深く聞いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を正しく捉えて、自分の意見をわかりやすく記述できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 学習プリント 観察 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 受け取った情報から、様々な「意味」を読み取ったり、自分なりに「意味」を補完したり、他の情報と組み合わせより深い「意味」や新しい「意味」を構築してゆく態度と能力とを育む。 自ら課題意識を持ち、情報を求めたり情報を発信したりして、課題を解決してゆこうとする態度と能力とを育む。 自己とはどのような存在であるのかを知り、他者とはどのような存在であるのかを知ろうとする態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめとして、次の学習内容を発表する。 教科書外教材活用（一）情報を得る方法、活用する方法本単元第3時での「様式」についての学習内容本単元第4時での「深層心理にある日本的なもの」についての学習内容 発表を聴き、授業内容を再確認するとともに、自己のものの捉え方や考え、感じ方について知る。 今回の学習によって、自己のどのような面を知ることができたか、それを今後どのように活用できるのか記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各発表を聴く際には、自分なりの意見を考え、メモを取りながら聞くように指示する。 からは、一つのテーマについて、複数の情報源を用いて調査することの重要性を再認識させる。 からは、他者のものの捉え方や考え方を知り、自己のそれと比較させる。 からは、自分たちのものの捉え方や考え、感じ方の根幹を為すものを再確認させる。 メモを元に、今回の学習によって得たものを記述させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表者の発表をメモを取りながら、注意深く聴いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表者の発表をメモを取りながら、注意深く聴いているか。 聞き取りやすい音量と話し方で発表できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己が得たもの、気づいたものを、わかりやすく記述できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 学習プリント 	